



しょうせつ

小雪（22日）… かえではどんな色になるでしょう …

園庭のかえでは、桜とともに青南幼稚園のシンボルツリーとして園庭の中央で存在感を示しています。平成30年1月の大雪で南側の太い枝が折れましたが、その後も元気に晩秋から初冬にかけてきれいに色付きます。今年はどんな色付きを見せてくれるのでしょうか。

## <虹蔵不見 にじかくてみえず 11月22日~26日>

小雪の初候は「虹蔵不見」です。4月の「清明」の末候が「虹始見（にじはじめてあらわる）」です。それから約半年が過ぎ、曇り空が多くなり、日射しが弱まってきて、虹を見ることも少なくなる頃ということのようです。

## <今年初めての遠足>

今年は諦めていたバス遠足が実施可能になり、諸条件を総合的に考えて、サンシャイン水族館を行き先を選びました。まだ遠足に行くのは難しい年少児は留守番ですが、その分、この日は園庭をずっと独り占めです。そんな年少児に見送られて、年中・年長児が元気に出発しました。バスとサンシャインビルの中は縦割り学級で行動しました。館内は密を避けて学年ごとに分かれてきましたが、他の団体客はおらず、ゆったりと館内を見学することができたことは幸いでした。

## <ワクワクドキドキがいっぱい>

水槽には珍しい海の生き物がたくさんいて、どの子ども目を輝かせて見ていました。大きな水槽を悠々と泳ぐ大きなエイやサメ、巨大なタコが勢いよく動き回る姿には歓声があがっていました。クラゲのコーナーは、自分たちが深海を泳いでいるかのような不思議な感覚でした。どんどん先に進みたい子もいれば、それぞれの生き物をじっくりと観察している子もいました。動きが気になるものや色や姿が珍しくて釘付けになるものなど、刺激がいっぱいでした。

## <共通体験が次につながります>

屋上にいたペリカンやペンギンは、その様子を真下から見上げる形になり、足の裏や空を飛んでいるような姿を見て、感じた思いを口々に発していました。興奮と夏のような陽気に、後半はややバテ気味でした。ペンギンの前でひと休みしながら、水分補給をし、小腹を満たすために持っていったラムネでパワーを充電してから帰り支度を始めました。みんなで共通体験したこのワクワクドキドキが、この後の園生活でどんな展開を見せるか楽しみです。



「年少さん、行ってきます！」



エレベーターは学級ごと、とにかく静かに



巨大なタコが激しく動き回る姿にびっくり！



何とも不思議なクラゲの世界



サンシャインビルの中ではマナーを守って静かに移動します



一番大きな水槽には大小様々な魚たちがいっぱい！



ペンギンが頭の上を飛んでいる！